

農村振興整備調査推進費補助（拡充）

1. 趣 旨

- (1) これまでの農村振興整備は、地域の農業の健全な発展と豊かで住みよい農村を目指し、農業生産の基盤の整備と交通、情報通信、衛生、教育、文化等の生活環境の整備その他の福祉の向上を総合的に推進することを重要な柱としてきた。
- (2) しかしながら、平成17年3月策定された新たな基本計画において、「国民のゆとり、安らぎ、心の豊かさなどの価値観の変化の中で、国民全体の生活を支える共有の財産とも言える農村の振興に当たっては、これまでのように都市との格差を是正するという画一的な考え方から、地域の個性・多様性を重視する形に転換する」との基本方針の下、
 地域資源の保全管理政策の構築
 農村経済の活性化
 都市と農村の共生・対流と多様な主体の参画の促進
 快適で安全な農村の暮らしの実現
 に向けて施策を展開することとされたところである。
- (3) 特に、農地・水、自然環境、景観、農村文化などの地域資源については、農家の高齢化、農村の過疎化や混住化によって、その適切な保全管理が困難になってきており、これらの資源を適切に管理し、農村振興に活用していくための新たな施策の構築が喫緊の課題となっていることを踏まえ、平成18年度において、地域資源の保全・活用施策について重点的に調査・検討を進める。
- (4) また、これからの農村振興整備は、地域の主体性と創意工夫を活かした多様な取り組みの推進に資するとともに、特に、多様な主体の参画等による新たなコミュニティづくりが重要であるため、これまで蓄積してきた調査・研究の成果を踏まえ、このような新たな視点を加えた農村振興のための総合的な調査・研究を行うことにより、地域の個性・多様性を十分に発揮した農業農村整備事業等の効率的・効果的な推進を図るものである。

2. 事業内容

次のような調査・研究等を実施し、農村振興に関する施策の展開や事業の実施に反映させる。

拡 充	現 行
1) 地域資源の保全・活用に向けた施策の調査・ 検討 (平成18年度重点実施) 2) 多様な主体の参画による総合的な農村振興方 策に関する調査・研究 3) 海外の新たな農村振興施策に関する調査、資 料収集 4) 多様な農村振興に資する事業等の普及推進 5) 多様な農村振興に資する情報の収集・整理・ 保存及び提供	1) 今後の農村振興に関する基本問題の研究 2) 新しい農村振興に関する計画手法等の調査・ 研究 3) 海外の農村振興の動向に関する調査、資料収 集 4) 農村振興に関する事業等の普及推進 5) 農村振興に関する情報の収集・整理・保存及 び提供

3. 事業実施主体等

- (1) 事業実施主体：財団法人農村開発企画委員会
 (2) 補 助 率：定 額
 (3) 事業実施期間：平成13年度～平成22年度（平成17年度）

4. 平成18年度概算決定額

67,366(67,366)千円

【担当課：農村振興局企画部農村政策課】